



さんむ 21
いしかわ
和久
かずひさ

議員

成東駅南側周辺整備について

問 南側駅前広場事業の進捗状況はどうか。

答 都市整備課長 平成24年度から用地補償交渉を進め、昨年の10月には駅前広場の本体工事に着手したところです。

問 来年度予定している工事につきましては、現在の駅前広場の機能を確保しながら施工することになるため、非常に難しい工事になると考えています。平成28年度末に供用ができるよう努めていきたいと考えています。

問 送迎用の車両の待機で、駅のロウタリーなどが混雑・渋滞しているが、その対策についてはどうか。

答 都市整備課長 駅の反対側区域に、3

台分をまず設ける計画にしています。また、駅の近くにある市の用地に、車両待機所を整備し、駅前広場と合わせて10台程度の停車スペースを確保する計画です。

問 観光交流センターの建設費用と建物概要はどうか。

答 都市整備課長 来年度予算に整備費として、8千100万円を計上しています。建物の概要については、敷地面積約320㎡、この用地に木造2階建て、延べ床面積約180㎡の建物を予定しています。

問 観光交流センターの役割はどういうものか。

答 都市整備課長 地域の方々と観光客との交流拠点になること、さらには観光案内所にかわる施設です。施設の1階には観光案内業務スペースを設け、そのほかに鉄道、バス、タクシーを利用される観光客や地域の方々の待合スペースを配置する計画です。また、この待合スペースに、市の魅力をアピールできるようギャラリー機能を付加する予定です。

問 2階については、当施設の利用者のためにフリースペースを用意するとともに、会議室を配置する計画です。観光客の利用が限られる平日の夕方については、この2階を駅を利用する学生に開放し、学習スペースとしての活用も視野に入れていきます。

問 駅周辺の防犯対策の取り組みはどうか。

答 都市整備課長 現在の計画では、夜間における車両及び歩行者の通行の安全性を高めるため、車道のロータリーを囲む形で、道路照

明灯を6基、またこの6基の照明灯でカバーし切れない歩道の部分について、2基の歩道照明灯を設置します。

問 今後の駅周辺の活性化の取り組みはどうか。

答 市長 行政だけではこの問題は解決できませんので、民間の力をいただきながら、取り組んでまいりたいと考えています。

問 観光案内所を高校生の勉強の場にも利用させていただくという点も含め、地元の方々が出入りする場所にもしていただき、さまざまな形で、そこを拠点としてにぎわいを出していただきたいと思えます。

答 現在のメイン通りになっているところは、今度裏道になりますが、そこをどのように活性化していくかさまざまな問題

を抱えていますので、地域と行政が一体になって、きたいと思えます。お力もいただきながら、



(仮称)成東駅前観光交流センター 完成イメージ図